

ヤブガラシ類の地上部を刈り取っても、根が残っているため1ヶ月後には全長1mにまで生長する。そのため、さとうきび植付前は、土壌中にあるヤブガラシ類の根をできるだけ防除する。これは、さとうきびの生育期間中に根断片から萌芽したヤブガラシ類を防除する労力を軽減するため重要な作業である。

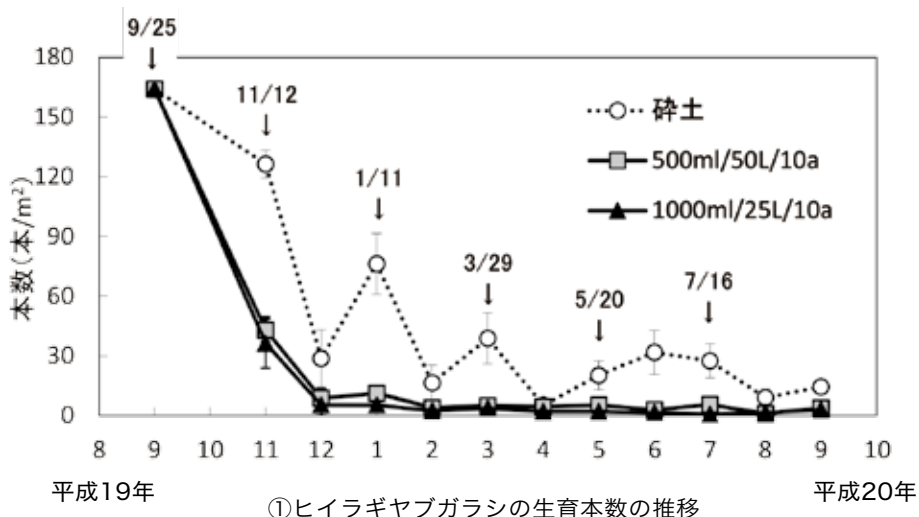


ヤブガラシ類の茎葉にグリホサートカリウム塩液剤を複数回（植付前は4回までしか使用できない）散布を繰り返すと、ヤブガラシ類の根を防除することができる。

## (1) グリホサートカリウム塩液剤による防除効果

### 1) ヤブガラシ類の茎葉に対する防除効果

ヤブガラシ類の茎葉にグリホサートカリウム塩液剤を2ヶ月間隔で複数回（4回以内）散布すると、高い殺草効果が得られる。3回目の散布後からヒイラギヤブガラシの茎葉の発生が抑制され、地中の根もほとんどなくなる（③、④参照）。（①及び②は、平成19年9月～平成20年10月にかけて、さとうきびほ場で試験した結果である）。



碎土区



500ml/50L/10a 散布区

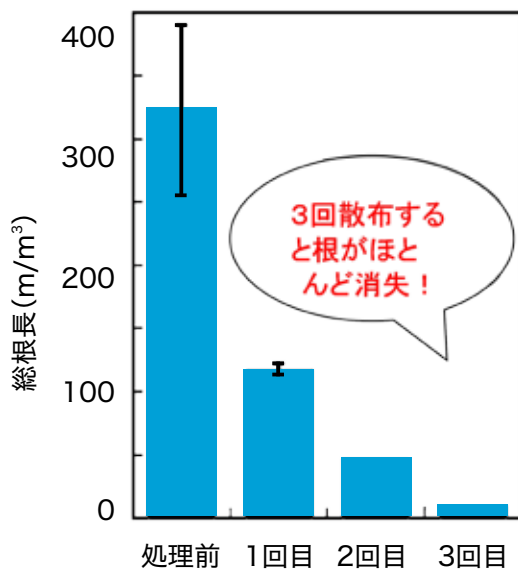


1000ml/25L/10a 散布区

②各処理区におけるヒイラギヤブガラシの様子（平成20年3月28日撮影）

## 2) ヤブガラシ類の根に対する防除効果

ヤブガラシ類の茎葉にグリホサートカリウム塩液剤の散布を繰り返すことで、土壌中の根量は減少し（③参照）、根断片からの萌芽率も低下する（④参照）。これは、ヤブガラシ類の茎葉から吸収されたグリホサートカリウム塩液剤の有効成分が根に浸透移行し、根を枯殺するためである。



③ グリホサートカリウム塩液剤の複数回散布によるヒイラギヤブガラシ総根長の推移

注意) 総根長は、1m<sup>2</sup>、深さ1mにあるヒイラギヤブガラシの全根長

④ グリホサートカリウム塩液剤の複数回散布によるヒイラギヤブガラシ根断片からの萌芽率

深さ (cm)	1回散布後	2回散布後	3回散布後
10	30	0	0
20	10	20	0
30	40	0	0
40	20	16	0
50	0	56	
60	0	60	
70	0	0	0
80	10	13	
90	0		
100	0	0	
平均(%)	11	18	0

注意) 数字は根断片からの萌芽率

再生株に繰り返し茎葉処理すると根からの萌芽率が激減する！



1. 非選択性除草剤のグリホサートカリウム塩液剤がさとうきびに付着すると薬害を生じ、枯死する場合がありますので注意する。
2. 農薬が隣接ほ場に飛散しないよう注意する。
3. 本剤は、植付前に **4回以内**しか使用できない。農薬を使う前には、ラベルを必ず確認する。



さとうきびにおいて、多回散布で登録がある  
グリホサートカリウム塩液剤は、

## ラウンドアップ・マックスロード®

のみです（平成 27 年 3 月現在）

### ラウンドアップ・マックスロード® の使用基準

適 応 場 所	適 応 雑 草 名	使用時期	10アール当りの 使用量		本 剤 の 使 用 回 数	使 用 方 法	グリホサートを含む 農 薬 使 用 回 数
			薬量 (ml)	希釈水量 (L)			
—	1 年 生 雑 草	耕起前又は 植付け前まで (雑草生育期)	200～ 500	通常散布 50～ 100、 少量散布 25～50	4 回 以 内	雑 草 茎 葉 散 布	6 回 以 内
	多 年 生 雑 草		500～ 1000				
	1 年 生 及 び 多 年 生 雑 草	収 穫 60 日 前 まで (雑草生育期：畦間 処理) (但し、仮茎長 1.5m 以上)	500～ 1000		2 回 以 内		
ほ 場 内 の 周 縁 部	1 年 生 雑 草	収 穫 60 日 前 まで (雑草生育期)	200～ 500				
	多 年 生 雑 草		500～ 1000				



非選択性除草剤(グリホサートカリウム塩液剤)は  
ヤブガラシ類の防除効果が高い